

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 子どもの理解と援助 ナンバリング：2204	保育士資格取得のための 必修科目	単位数：1単位 （半期）演習	担当教員名：小林加奈 担当形態：単独
系 列	保育の対象の理解に関する科目		
教科目	子どもの理解と援助		
授業の到達目標及びテーマ 1. 問題行動について理解できる。 2. 適切な援助方法について考えることができる。 3. 問題行動に対する仮説を生成し、支援プランを説明することができる。			
授業の概要 事例を用いて子どもを理解し、適切な援助方法を考える。			
授業計画 第1回：事例を通した子どもの理解①（問題行動とは何か） 第2回：事例を通した子どもの理解②（問題行動とは何か） 第3回：事例を通した子どもの援助①（アセスメントとは何か） 第4回：事例を通した子どもの援助②（支援策を考える） 第5回：事例を通した子どもの援助③（環境要因を考慮する） 第6回：復習・ディスカッション 第7回：事例を通した子どもの援助④（他機関との連携） 第8回：事例を通した子どもの理解と援助①（グループワーク） 第9回：事例を通した子どもの理解と援助②（グループワーク） 第10回：事例を通した子どもの理解と援助③（グループワーク） 第11回：復習・ディスカッション 第12回：事例を通した子どもの理解と援助④ 第13回：事例を通した子どもの理解と援助⑤ 第14回：復習・ディスカッション 第15回：期末試験 定期試験：筆記		授業時間外の学習 ・授業内で配布するプリントの復習 （各回1時間程度の復習）	
授業の方法 講義、ディスカッション。毎回授業終了時に行う小レポートにコメントを入れ返却する。			
テキスト 無し 適宜プリントを配布する。			
参考書・参考資料等 必要に応じて授業内で紹介を行う。			
学生に対する評価 小レポート（60%）、定期試験（40%）を考慮し評価を行う。			
履修上の注意 毎回授業終了時に簡単な小レポートの提出を求める。			
実務経験の有無	有	実務経験	発達センター、臨床心理士
実務経験を活かした教育内容 保育士との協働の経験を活かし、実践的な授業を行う。			